

◇単独山行便り

蓼科横谷溪谷氷瀑巡りと蓼科山登山

布引支部 渡田哲夫

日時：令和4年2月11日(金)～13日(日)

天気：11日・12日晴れ 13日曇りのち雪

令和2年10月に蓼科山から北横岳に縦走した時、蓼科山山頂は霧で何も見えませんでした。その時から今度は「雪の蓼科山」に登ろうと決めその機会を窺っていました。今年は雪も多く2月11日(金)から13日(日)が3連休ということもあり、天気さえよければ決行したいと思ってました。蓼科山だけだともったいないので他に近くで良いところはないかと探していたところ、蓼科横谷溪谷の氷瀑が見頃だという情報を得ました。また、欲を出して車山(霧ヶ峰の最高峰)も行ってみたいということで2泊3日の計画を練りました。

【2月11日(金)】

茅野駅には14時25分到着。昨日、南岸低気圧の影響で中央本線が全面ストップしていたのでその影響が心配されましたが、大した遅れもなく茅野駅に着きました。茅野駅からは本日宿泊する「横谷温泉旅館」の送迎バスに乗ります。

14時45分、時刻通りにバスは出ました。途中、八ヶ岳連峰の雪山を見ながら30分程で旅館に着きました。今年創業99周年を迎えるこの老舗旅館には思ったよりも沢山の人がきており受付をするのに15分程待たされました。受付が終わってからその足で荷物を預け滝巡りに出発。旅館の前から滝巡りは始まります。



15～20分程歩くと素晴らしい氷瀑が現れました。雪の中の氷瀑は神戸では最近あまり見ることができないので感動しました。2時間弱氷瀑巡りを楽しんで旅館に戻りました。

部屋は10畳でベッドが2つありました。すぐに夕食で「雪の露天風呂」は後の楽しみに取っておきます。食事が終わって、ロビーではピアノの演奏会が催されていました。演奏が終わって楽しみの「雪の露天風呂」に入りました。「凍結注意」と入口に書いてあり注意書きは見たのですが、戸を開けて一歩踏み出したとたん滑って転倒してしまいました。幸い膝の擦り傷だけですんでよかったです。温泉に入り身体が温まったところで明日に備えて寝ることにします。

【2月12日(土)】

7:00から朝食。8:00には旅館を出発しました。冬季は蓼科山登山口(女乃神茶屋前)までバスが行かないので旅館からタクシーで登山口まで行きました。



8:30には登山口に到着。周辺の駐車場は満車状態でした。今日は天気が良いので早朝から車で来ている人が沢山いました。準備を済ませ9:00に蓼科山登山口から登り始めました。

最初は平坦な樹林帯を歩きます。トレースもあり、アイゼンもよく効き歩きやすい道でした。30分ぐらい歩くと最初の登りです。今日は天気が良いので登りでは汗が出て止まりません。なるべく汗をかかないようにゆっくりと歩きますが拭いても拭いても出てきます。急坂の登りが終わると平坦な道になります。出発から1時間半ぐらいで2110m地点まで来ました。そこから少し歩くと目の前に蓼科山が現れました。山頂まではまだ大分あります。11:00に幸徳平に着きました。ここから少し行くと目の前は登れるのかと思うぐらいの急坂です。急登が山頂直下まで1時間30分続きます。足が攀らないようにゆっくりゆっくり登りました。



この辺りから雪質が変わってアイゼンの爪を踏み込んで刺さりにくく角度がきついので後ずさりします。何度も休み休みやっと山頂に着きました。出発から3時間40分(予定より10分遅れ)でした。山頂はとても良い天気で360度景色が素晴らしく、苦勞して登った甲斐がありました。先ず、記念撮影をしてから蓼科神社にお参りをしました。

山頂はとても広く西の方へ行くと霧ヶ峰、御嶽山、乗鞍岳がよく見えました。乗鞍から続く北アルプスも綺麗です。北東方面は浅間山がよく見えました。そして東側には北横岳から縞枯山、茶臼山、天狗岳、硫黄岳、赤岳と続く八ヶ岳連峰がくっきりと見えました。



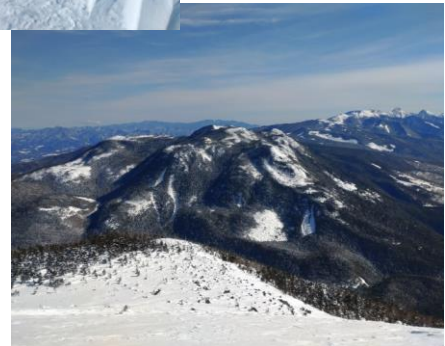
蓼科山山頂(2530m)

蓼科神社

うれしくて山頂滞在時間が30分の予定が約1時間山頂にいました。雪に埋もれた蓼科山ヒュッテの横で食事を済まし下山にかかりました。



山頂のシュカブラ



北横岳と八ヶ岳連峰

13:40に下山開始。下山は登りと違いスムーズで2時間10分で女乃神茶屋前に下りてきました。タクシーは余裕をもって16:30に呼んでいたので、アイゼン・スパッツを片付けた後少し待ちました。タクシーで蓼科プール平まで行ってもらいそこからバスで茅野駅まで行きました。諏訪湖のほとりの千人風呂で有名な「片倉館」で入浴、疲れを癒しました。今日は茅野駅から徒歩10分の今流行りの「古民家カフェ」に泊まりました。



古民家カフェ

【2月13日(日)】

今日はバスで車山高原まで行きリフトで車山（霧ヶ峰の最高峰）に登ります。

茅野駅発9：25のバスに乗りました。朝は天気が良く、バスの車窓から雪の八ヶ岳連峰や昨日登った蓼科山が綺麗に見えました。1時間程で車山高原に到着。途中、真っ白に凍った白樺湖から見る蓼科山がとても印象的でした。バス停から歩いてすぐの車山高原スキー場に行きリフトの券を買いました。スキー場はコロナ禍とは思えないほど沢山の人が賑わっていました。リフトを2回乗り継ぎ車山山頂のすぐ下に到着。そこでスパッツ・アイゼンを装着、山頂へ向かいました。山頂までは歩いて5分です。11：30には山頂に着きました。1925mの山頂は昨日の蓼科山と同じく360度景色が楽しめます。



車山山頂（霧ヶ峰最高峰 1925m）

しかし、蓼科山よりも風がきつく霧ヶ峰方面へ少し歩きましたが曇ってきたので气象台まで戻り食事を済ませてすぐ下山にかかりました。

13：30にはスキー場に下りてきました。バスが15：00発なのでスキー場のレストランでお疲れ様のビールを飲んでくつろぎました。外は雪が舞ってました。茅野駅には16：00過ぎに到着。雪がひどくなってました。



車窓から見た蓼科山

塩尻からの特急「しなの」が運休しないか心配でしたが予定通り運行しており名古屋に10分程遅れて到着しました。22：00頃には無事帰宅。この度は念願の「冬季蓼科山登山」ができて非常に満足しています。苦勞して登った後、山頂に立った時の爽快感は何にも代えがたいものでした。